

平成20年度第1回中原区区民会議運営部会会議録

- 日 時 平成20年8月5日(火) 午後4時00分～午後5時34分
- 場 所 中原区役所5階505会議室
- 出席者 鈴木委員、竹井委員、芳賀委員、藤枝委員、藤嶋委員、吉房委員
(事務局) 御前副区長、齋藤企画課長、日笠主査、小木曾職員、石渡職員
- 傍 聴 なし
- 報 道 なし

○次 第

- 1 開会
- 2 中原区区民会議運営部会要領(案)について
⇒(案)のとおり了承
- 3 正副部会長の互選
⇒藤枝委員を部会長、鈴木委員を副部会長に選任
- 4 会議録確認委員の選任
⇒鈴木委員を選任
- 5 議題

(1) 第2期中原区区民会議の運営について

- 事務局：資料1-1及び1-2に基づき、第2期中原区区民会議のスケジュール(案)及び審議の流れ(案)について説明
⇒(案)のとおり了承

(主な意見)

- ・ 第2期の進め方としては、この案でよいと思うが、第1期の区民会議で継続してすることになった環境への取組みについては、今後も体系的に施策を考えて取り組むようにすべきである。第2期として新しいテーマを取り上げていくことになるが、環境問題への取組みについても、少し時間配分を行って、継続的に議論をしていく必要がある。(竹井委員)
- ・ 第1期では、テーマについて議論をして、さらにその内容(結果)を検証する時間が取れなかったため、今回の案のように、「全体会議で議論して、それを部会で検討して、それをまた全体会議に戻す」という手法は、区民会議委員の負荷は増えるが、議論を深めるやり方としては良いのではないかと。また、竹井委員から発言があったように第1期で取り上げた課題についても、その後の状況を把握することは必要であると思う。(芳賀委員)
- ・ 第1期のエコの取組みは継続すべきであると思う。(吉房委員)
- ・ 区民会議が「区民に知られていない」ことが課題である。区民会議のことを周知させるよう努める必要がある。区民会議を広報する部門が必要ではないか。(藤嶋委員)
- ・ 区民会議の周知において会議の傍聴人が増えることもひとつの方法ではあるが、傍

聴が増えることで会議の成果があったということではないと思う。色々な場（会合）で委員が働きかけて知らせることも必要である。また、傍聴も一般の区民に多く来てもらえるような雰囲気作りも必要である。（吉房委員）

- ・ 区民会議で取り上げるテーマによっても、区民の関心が違う。身近な、切実な課題などを取り上げることによって興味を引くこともあるので、テーマ選びも重要ではないかと思う。（鈴木副部長）

（２） 第２回中原区区民会議の検討テーマ及び今後の検討テーマについて

- 事務局：資料２について、第１回区民会議で各委員から提案された検討テーマを課題別に整理したもので、課題のキーワードや内容にしたがって、分類を細分化したものであることについて説明を行う。

（主な意見）

- ・ １回の会議でひとつのテーマということではなく、新しいテーマを取り組みながら、これまで取り組んだテーマを同時に審議するというのも考えてもよいのでは。（芳賀委員）
- ・ この資料では、その他として分類されている「バリアフリー」の問題は、「安全安心のまちづくり」という課題に含まれてくるのではないか。「ユニバーサルデザイン」についても同様であり、それらも含めると、「安全安心のまちづくり」という課題への提案の数は多く、重い課題とも言える。（鈴木副部長）
- ・ 提案の数の多さだけで課題の重さを量ることはできないと思う。ひとつひとつの課題がそれぞれに重要性がある。自転車問題も提案数が多いが、これはやはり中原区の地域の特色を現しているとも言える。（芳賀委員）
- ・ 自転車の問題にこれだけの委員から提案があるということは、やはり、この問題への関心が高いとも言えるのでは。（藤枝部長）
- ・ 放置自転車問題でも、自転車を使わないで公共交通機関を利用すること、歩くことは健康のためにいい、といった少し視点を変えた投げかけ方が必要である。（芳賀委員）
- ・ 今、町内会で自転車のマナーアップの取り組みを行っている。こうした取り組みを他の町内会でも行えないか、とも考えている。（吉房委員）
- ・ マナーということであれば、教育問題も大事である。（藤嶋委員）
- ・ 子育ての問題ということになれば、その親の教育ということも必要である。（吉房委員）
- ・ 自転車の問題を取り上げるとすると、マナーというソフトの問題もあれば、駐輪場が足りないというハード面の課題もあるのでは。（鈴木委員）
- ・ 駐輪場については、小杉駅周辺は１３０％以上の利用率、中原駅などでは、６０～７０％の利用しかない。利用者の自転車の置き方（マナー）なども問題である。（芳賀委員）
- ・ 自転車のマナーを取り上げると、その他のマナーにもつながるのでは。（吉房委員）
- ・ 放置自転車問題をやるのなら、駐輪場の状況や放置自転車の台数などのデータの提

供も必要である。(竹井委員)

- ・ マナーというと自転車だけではなく、公共のマナーという視点も必要では。
- ・ 「公共のマナー」ということになると、幅が広くなりすぎるのでは。テーマはひとつに絞って、自転車のマナーを取り上げれば、多くのマナーにもつながっていくのではないか。(鈴木副部長)

⇒以上の議論の結果、第2回区民会議の検討テーマを「放置自転車問題」とすることを決定

(3) 第2回中原区区民会議の日程について

○事務局：会場、その他行事等の都合などから、10月9、10、14、15日を案として提示する。

⇒10月9日(木)【午後6時30分】開催で決定

(4) 第2回中原区区民会議の進め方について

○事務局：【第2回中原区区民会議 次第(案)】

- ①運営部会、協働推進事業検討部会の報告
- ②第2回区民会議検討テーマの審議
- ③課題調査部会委員の選任

以上の議題を主な内容とする。

⇒(案)のとおり了承

(5) 区民会議の広報について

○事務局：参考資料のイメージ図(案)により概要を説明

①記事内容(案)

- ・ 第1回区民会議が開催されました。
- ・ 区民会議委員名簿
- ・ 委員長、副委員長、部会委員の紹介
- ・ 委員長のコメント
- ・ 区民会議とは？(区民会議の審議の流れなどを簡単に紹介)
- ・ 第2回区民会議のお知らせ

以上を主な内容とする。

(広報に関する主な意見)

- ・ 区民会議の開催のお知らせであるとか、会議のテーマなどをしっかりお知らせしたほうがよい。(藤嶋委員)
- ・ 広報誌の色を統一して、この色のチラシがきたら、区民会議だよりだと分かるようなものにしたほうがよい。(吉房委員)
- ・ 色は(うすい)緑でいいのでは。(意見多数)
- ・ タイトルを「皆さんの区民会議」など親しみが持てるタイトルにしたほうがよい。

もう少しキャッチコピーを工夫したほうがよい。(藤嶋委員)

- ・ 町内会の回覧にするのであれば、多くの回覧物があるので、この広報誌が埋没してしまうこともあるので、少し配布時期をずらすなど工夫したほうがよい。(吉房委員)
- ・ 広報をすることも大切であるが、区民会議の傍聴者に意見を聞く機会を設けるなど、区民が参加している意識を持たせる工夫をしたほうがよい。市民報告会を2年間に1回ということではなく、課題テーマごとに意見を交わす場を作っていければよいのでは。(竹井委員)

⇒ (事務局) 広報誌については、委員の皆様の意見を参考に作成する。区民会議広報誌の町内会への配布(回覧)時期については、各町内会での回覧物の仕分け作業の都合もあるので検討課題とする。また、区民に区民会議への参加意識を高める手法として、区民会議広報誌に課題テーマへの意見を募集することもひとつの方法である。その他、参加意識を高める手法については検討を行う。

以上